

## 令和2年度睦会事業重点項目

### (1) 中長期（3～6ヵ年）経営計画の確実な実践

「基本理念」「基本方針」を根幹として、その「目標や計画」等を確実に実践すべく、法人及び施設・事業所における経営の健全化、充実したサービスの提供に努める。

#### ① 障がい者の地域生活支援推進のための地域生活支援拠点の整備

地域や施設で生活する障がい者に対し、グループホーム等の居住支援及び相談支援や、生活介護を主体とした通所型の日中活動支援を一体的に行う地域生活支援拠点の整備を岩手県や遠野市、福祉医療機構、遠野市障がい者自立支援協議会等の関係団体と連携を図りながら、令和2年度の整備を具体的に推し進めながら、その実現に努める。

#### ② 職員行動規範を軸とした支援の徹底

職員としての専門的役割の自覚と果たすべき使命の認識を持ち、職員行動規範を軸とした利用者支援の徹底を図る。

#### ③ 臨時職員の無期労働契約への転換

有期労働契約が更新されて通算5年を超えた臨時職員を対象に、無期労働契約への転換を図る。

#### ④ マンパワーの確保

福祉に携わる人材難の状況の中、地域生活支援拠点整備後の新たな人員配置に向けて、働き方改革等における高齢者の人材確保も視野に入れながら、絶えず求職者の動向を見据えて職員募集（職員採用試験の実施）を行う。

### (2) 相談支援事業の充実

職員の増員を図り、地域や福祉施設等で生活している障がい者、就学前・就学中の児童を問わず、対象者の相談に応じ、サービス等利用計画を作成しながら、サービスが受けられるよう充実を図る。また、岩手県社会福祉協議会が実施しているIWATE・あんしんサポート事業に参画し、市内の生活困窮者等へのサポート活動を行う。

### (3) 施設入所支援・生活介護サービスの充実

利用者の高齢化や重度化が進み、新たに施設を利用する障がい者においても生活介護サービスの利用が多くなってきている状況から、高齢・重度障がい者に対するサービスの充実に努める。

### (4) 生産活動の充実

生産活動実績においては、基軸となる紙媒体の印刷や椎茸栽培が伸び悩みの状態にあるが、創意工夫を重ねながら、作業品質の向上と受注量の増大を基本とした活動の充実に努める。

### (5) 工賃の向上

生活介護サービスを受ける利用者の増大とともに就労継続支援B型サービスを受ける利用者の高齢化や重度化が進んできているが、前年度実績を上回る工賃向上計画作

成のもと、対象者の工賃の向上に努める。

(6) 感染症防止に向けた取り組み

風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス等の感染症防止に向けて、マスク着用を含む咳エチケットや手洗い・うがい・アルコール消毒等の徹底を図りながら、発熱者の早期通院による受診に心がけ、重症化防止に努める。

(7) 多賀の里の業務効率化に向けた取り組み

多賀の里本体事業所と従たる事業所「結和」の配食部門において現状として2事業所で弁当配達等を行っているが、業務の効率化を図るため、その一体化に努める。

(8) 系統的な運営

利用者に対する生活支援、作業支援及び生産活動（工賃支払いを含む）、通所利用者の送迎支援、各種行事の企画、職員体制等において施設・事業所間の連携を密にするため、本部機能を十分発揮した系統的な運営に資するよう努める。